

小菅製パン株式会社

健保組合
加入事業所の
ご紹介
その②②

社は「均一製品で消費者に愛され 地域
社会に貢献」を社長みずから実践され、
率先して製品を販売

今回ご紹介する小菅製パン株式会社は、当健保組合の設立当初からご加入いただいております。去る3月5日、本社に小菅大輔社長をお訪ねしました。

流山市は千葉県の西北部、関東平野の中に位置し、東京都心から約25kmの距離にあります。また、市の西境を江戸川が南北に流れ、近世は江戸川水運の河港として栄えました。江戸川の対岸は埼玉県になっています。

同社は大正12年、小菅猪之助氏が東京の現南千住に小菅パンを創業し、13年に現柏市に移転しました。昭和28年、小菅製パン株式会社に組織変更し、同39年、流山工場が完成しました。平成10年には「厚生大臣表彰食品衛生功労者」を受賞されております。



小菅大輔社長

食物アレルギー対策や
「無塩パン」など、
顧客の細かい要望に対応

小菅製パン(株)は、学校給食が始まった当初から指定工場の認可を受けている学校給食の老舗です。その頃、千葉県内に学校給食の委託加工工場が50〜60社ほどありましたが、現在は15社にまで減少しています。同社は県内(柏市・流山市・我孫子市・松戸市・市川市・野田市)の小中学校250校と、茨城県の小中学校

たいと話しておられました。

イルス対策として、工場入口には「除菌タワー」、本社事務室玄関にも「除菌ゲート」(写真①参照)を設置し、来訪者にも通過時に除菌液の噴霧の中を通過していただくよう厳しい対策がとられています。

このような企業努力と、社長の地道な営業活動で新たな契約も増えており、県内の幼稚園給食は450カ所となっており、新たな販路は県内だけではなく、幼稚園給食は埼玉県500カ所、東京都350カ所、神奈川県200カ所に及び、また、病院給食等は首都圏102カ所と広がっています。社長の展望としては営業の人材を育成し、さらに、群馬県・滋賀県・岐阜県・福島県まで増やしていきたい

「ワケあり販売」がメディアに
取り上げられ、長蛇の列が

給食パンの製造は規格が厳しく、大量生産するために製品に焦げや割れ等で規格外となり出荷できないものがどうしても出てしまいます。4年前、社長は、正規品と規格外製品との味などに大差はない

小菅製パン(株) 製品のいろいろ



※小菅製パン(株)の詳細は、インターネットで
<http://www.kosugepan.com/>
(小菅製パン(株))で検索してください。



▲本社社屋



②「ワケあり販売」に並ばれる方々



①本社事務室玄関に設置された「除菌ゲート」

そこで同社は、新たな販路として幼稚園・保育園や、病院・養護施設などの給食を開拓しました。幼稚園給食は、初めは規格の弁当箱に入る大きさのパンを製造するのにたいへん苦労されて試行錯誤を重ねられましたが、現在ではミニ食パンや丸型の小さなコッペパン、小さなカレーパンなどの総菜パンを開発されています。また、食物アレルギー対策では、アレルギー源の原材料や除去食の個数な

どに細やかに対応され、個別包装をしたときに園児でも開けられる袋の工夫や、ごみを減らすなどの細かい要望にもできる限り応えるようにしています。

病院給食の場合では、「無塩パン」の注文を受けたときには、イースト菌発酵には塩が欠かせないものだけにたいへんご苦労されたことでした。さらに、衛生面に関しては、「ノロウイルス」などのウ

いとそれらの品々をただ廃棄するのを残念に思い、安く販売してはどうかと考え、試しに「ワケあり販売」としてみずから本社入口で販売をし、完売しました(写真②参照)。

そこで、工場が休みの毎週土曜日の朝、その1週間分の不良在庫となってしまう品を本社入口にて格安で販売し、それが口コミやブログで広まり、多くの顧客が来るようになりました。その模様が、平成25年3月に日本テレビ「news 24」で放映され、その直後は約600人が行列をつくり、交通渋滞になるほど車で来られ、うれしい半面ご近所に迷惑をかけることになり、困惑されたようです。テレビ放映後は、九州からも「テレビを見たから」と買いに来られた方もいて、メディアの効果とはこれほど大きいものかと驚かれました。

現在では、社長だけでなく賛同してくれた幹部職員たちとで毎週土曜日に休まず販売を続けており、2月の大雪の日も「悪天候割引」として販売され、約80人が悪路の中、買いに来てくださいました。ただ通常は、製造日の夜半から翌日朝に納品し、できるだけできたての品を提供していますが、「ワケあり販売」は週1回のため、なかには冷凍していたものを半解凍したものもあるので、なるべく早く召し上がっていただくようお願いしています。いまは週ごとに趣向を考えて、以前からあった「詰め放題袋」や「悪天

候割引」のほか、「ひな祭り袋」や「新春袋」などの季節ものや割引クーポンなども配布しています。また今後、ホームページの作成やFacebookの活用も検討されています。

社員だけでなく、
全体の健康管理を考えて
製品を製造

社長のお話を伺って、給食事業や「ワケあり販売」などに、社長の「均一製品で消費者に愛され 地域社会に貢献」を実践されていると感じました。

そして、社長に健康管理についてお伺いしたところ、「何もしていない」とのお答えでしたが、ウイルス対策や食物アレルギー対策などは社員だけでなく、給食を食べる子どもたちや一般の人の健康も含めて全体の健康管理を考えて製品を作っていたらいいと思います。また、当健保組合の「うつ病対策講演会」には同社の推進委員の方が毎回出席され、インフルエンザの予防接種もご利用いただき、健康管理を図っていたらいいと思います。

今後当健保組合の保健事業をご活用いただき、加入員の皆さまの健康管理の一助にいただければと思います。

小菅社長にはお忙しい中、長時間にわたり取材におつきあいいただき、心より感謝申し上げます。貴社のますますのご発展をお祈り申し上げ、今回の取材を終了させていただきます。